



対談を終え、作品の前で写真におさまる草間彌生さん(右)、大野智さん=いずれも諫山卓弥撮影

あふれるアイデア 無心で描く

「作品から計り知れない迫力」

旺盛な制作を続ける前衛芸術家・草間彌生さん(87)の最大級の個展「草間彌生 わが永遠の魂」が22日、東京・六本木の国立新美術館で始まる。草間さんは開幕前に、アイドルグループ「嵐」のリーダー大野智さん(36)と作品や個展について語り合った。大野さんは絵画や立体の制作も手がけ、数年前から草間さんとも親交がある。

草間 お元気ですか。
大野 お会いするのは1年ぶり以上かなあ。
草間 うんと活躍して、あなた忙しいでしょ。
大野 昨年はいろいろと仕事があった、本当に絵が描けませんでした。
草間 私みたいね。私も毎日毎日、お客さんが来るから。外国からの取材も多いのね。だからご飯を抜いて描いていることもある。
大野 食べないと。
草間 絵を描く方が大事なの。どろんどろんと動かして。チョコレートとか、おせんべいとかをご飯の代わりにして。
大野 だいたい何時ぐらいに起きていますか。
草間 6時ぐらいに起きて、夜中まで描くことがある。眠れない。3時半ぐらいまで絵を描いているの。

「嵐」リーダー 大野智さんと対談



大野 じゃあ、寝てないんですか。
草間 描いていた方がいいこと。
草間 そう、うんと幸福。無心で描いている。
大野 1枚仕上げるのにかかる時間は？
草間 小さければ1日のときもあるし、2日半ぐらいのときも。ものすごい速度よ。
大野 色なんかは迷わない。
草間 迷わない。みんな頭の中ででき上がっていて、どんどん出てくる。
大野 ドット(水玉模様)の場合は？
草間 出発は子供の時からあるの。以来、網目のああいものがいっぱい出てくる。
大野 アイデアがつかないときはないですか。
草間 出発は子供の時からあるの。以来、網目のああいものがいっぱい出てくる。



草間 全くない。いくらでも出てくるの。あなたの作品もステキよ。素晴らしいと思う。歌もダンスもできて、そんなに色々できる人って珍しいと思う。
大野 いやいや、そんなことは。先生はこれからのビジョンはありますか。
草間 私が死んだ後も、若い人たちにも感動してもらえようかなと一生懸命作ってゆきたい。
大野 今までの作品って全部で何点ぐらいですか。
草間 何万とあると思う。子供の時から描いているから。今度の展覧会には子供の時の絵も出ます。
大野 そういうのも残してあるんですね。何度か先生の作品を見てきたけど、今度はまた違う感じ方をするのがあるかな。楽しみです。
草間 今日は会えてよかったね。人生の素晴らしさっていうのは、人にまた会えるっていうことね。

幼少期の絵・参加型展示も

展示は2部構成で、第1部では近年描き続ける連作絵画「わが永遠の魂」の

大作約130点が、大展示室の壁を埋める(撮影可)。第2部では、幼少期の絵画からニューヨーク時代の網目の絵画や立体、「無限の鏡の間」までを展示。ロビ

ーには、天井や床、家具がすべて白い室内に、鑑賞者が水玉のシールを貼れる参加型の展示室も登場する(要観覧券・先着順)。

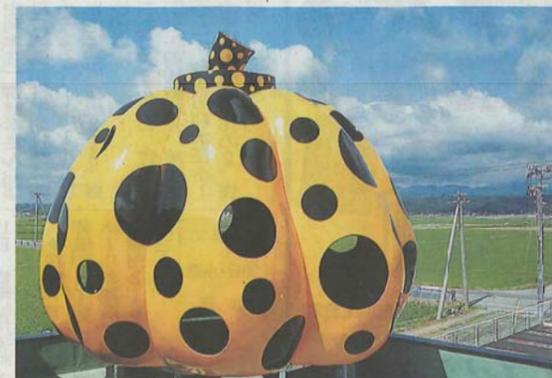
22日から 東京・六本木の国立新美術館

- ◆22日(金)～5月22日(日)、東京・六本木の国立新美術館。午前10時～午後6時(土および4月29日(日)～5月7日(日)は午後8時まで)。入場は閉館の30分前まで。休館日(5月2日は開館)
- ◆当日一般1600円(前売り1400円)、大学生1200円(同1千円)、高校生800円(同600円)。3月18日(日)～20日(火)は高校生無料観覧日(要学生証提示)
- ◆オリジナルグッズとのセット券などお得な観覧券もあります。詳しくは公式サイト(<http://kusama2017.jp/>)で
- ◆問い合わせ ハロー・ダイヤル(03・5777・8600)
- ◆講演会 3月4日(日)午後2時、美術館3階講堂で多摩美術大学学長で本展アドバイザーの建昌哲氏による講演会があります。先着順260人。事前申し込み不要。聴講無料ですが本展観覧券が必要(半券可)
- 主催 国立新美術館、朝日新聞社、テレビ朝日
- 協賛 鹿島建設、岡村印刷工業
- 協力 草間彌生スタジオ、パナソニック、TOKYO FM

本展の図録は開幕日以降、通販サービス「朝日新聞ショップ」(<https://shop.asahi.com/>)でも販売します。税込み2800円。



国立新美術館の樹木に水玉柄を施した「木に登った水玉 2017」(2017年) ©YAYOI KUSAMA



屋外展示場に設置される高さ4.5mの「南瓜」(2007年) =フォーエバー現代美術館蔵 ©YAYOI KUSAMA